

子供に寄り添う地域をめざして

神奈川県川崎市

活動名

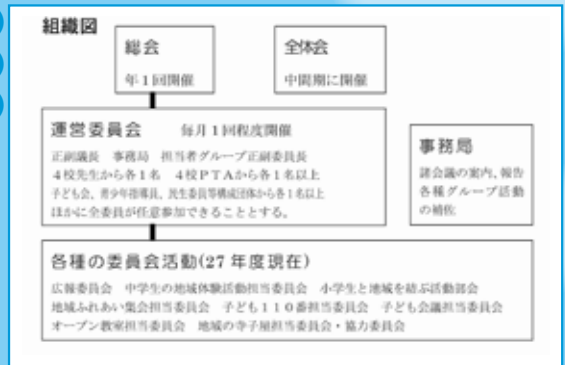
臨港中学校区地域教育会議
地域の寺子屋

関係する学校名

臨港中学校、大島小学校、渡田小学校、
田島支援学校

基本データ	学校支援活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	地域未来塾	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
放課後子供教室	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
	実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携				
土曜日の教育活動	総括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日		委員数		児童生徒数	学級数			

体制図



活動の概要・経緯

○臨港中学校区地域教育会議は、市民が自らの責任として教育を行うための自主的・民主的組織として平成10年に立ち上がり、中学生の地域体験活動（職業体験、地域行事への参加など）の支援、小学生と地域を結ぶ活動、校区内の児童生徒の交流と教育集会の実施、子ども会議の実施、地域の防犯活動など多彩な活動に取り組んだ。

○平成26年度から川崎市が土曜日の教育活動の枠により「地域の寺子屋事業」を立ち上げるにあたり、立ち上げ初年度のモデル事業として、当該事業に取り組むこととなった。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- 小学校2校で行う放課後の学習支援と、土曜日に行う体験活動をセットで実施している。
- 放課後の学習では、退職教員や地域の人たちが「寺子屋先生」となって、家庭学習の支援と学習習慣の定着を目指して、宿題やプリント学習を行っている。後半では、寺子屋先生達の特技を活かして、将棋や読み聞かせ、算数トランプなどを行っている。
- 土曜日の体験活動では「子供の生きる力を応援する」「良いものを次の世代に伝える」ことを方針として、その道のエキスパートや地域の人材に寺子屋先生として登場していただく。ここでは、校区内の中学校、特別支援学校にも声をかけ、保護者や地域の方も参加して、世代間での交流の場ともなっている。

【実施に当たっての工夫】

- 寺子屋事業のイメージキャラクター「寺っコ」を、看板やプリント、児童に持たせる参加カードなどに多用し、子供たちが楽しく、親しみを持って寺子屋に参加できるようにしている。体験活動の参加者には、寺っコシールのお土産も配布するので、参加する親子の楽しみになっている。
- 体験活動に続けて参加している子供には、参加の回数に応じた「生きる力」を評価して、参加10回毎に初段、二段と「認定証」を贈呈している。子供たちの励みにもなっている。
- 体験活動では、プログラムに応じて中学校の陸上部や美術部など各部活動との連携・協働も図っており、学齢をこえた交流の場になっている。

● その他

JAXA、日本数学検定協会、ジュニアマナーズ協会、JR東日本、学研、アジアキッズスポーツ協会、CCかわさき、放課後NPOアフタースクールなどの協力も経て、多彩なプログラムを実施しています。



放課後の学習支援の様子



地域の女性部のみなさんとうどんづくり